

平成 31 年度 「現代文 B」 (3 学年) シラバス

『新編現代文 B』Ⅱ部	単位数	2 単位	学科・学年・学級	全科・3 学年
-------------	-----	------	----------	---------

1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編現代文 B」(現 B321)
副教材	「新編現代文 B 学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / その他、指導用 DVD-ROM 収載の補助資料など ※「4 学習計画、及び評価規準など」の「備考」欄では、「新編現代文 B 学習課題ノート」の扱いについては省略している。

3 評価の観点、及び内容、方法

評価の 観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の 内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート、レポート・感想文などの作成した文章) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動における発言内容) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査

4 学習計画、及び評価規準など

※「主な評価規準の具体例」の欄に示した「学習指導要領の指導事項（主として該当するもの）」については、学習指導要領の指導事項と対応する記号（ア、イ、ウ、エ、オ）を略記した。

※「関心・意欲・態度」の観点については、各能力（または「知識・理解」）の評価規準に示した内容に、取り組もうとしているということを評価規準とする。

※「備考」欄には、以下の内容が入る。

- 1 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連／2 図書館やICTの活用など／3 副教材の使用など

学期	月	単元	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例 [話]-話す・聞く/[書]-書く/[読]-読む/[知]-知識・理解 〈評価方法〉 学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)	備考
1	4	1	オリエンテーション ヨン	自分への手紙	<ul style="list-style-type: none"> 現代文の目標や履修等の仕組みを理解する。 一年後の自分に手紙を書き、決意を再確認する。 	[書] 進級した気持ちや目標を手紙文として書いている。〈記述の確認〉 ーエ	
		4	1 読書と人生 ▼読書に関する文章を読んで、読書が生きていくうえで果たす役割について理解しよう。	楽に働くこと、 楽しく働くこと	<ul style="list-style-type: none"> 働くことにおける意識の持ち方の違いを理解する。(手引き2) 筆者の労働に関する考えを理解する。(手引き2) 	[読] 実際に旋盤工として働いていた筆者の体験をもとにした労働に関する考えを理解している。 〈行動の観察/記述の確認/定期考査〉 ーイ [知] 日本の職人が培ってきた技術と精神を理解している。〈行動の観察/定期考査〉ーオ	「新総合図説国語」を利用して、作者のことを調べる。また、評論文重要語・現代用語なども調べ、語彙の範囲を広げる。
		2	▼自ら進んでさまざまな書物を読み、視野を広げ、考えを深めていこう。	情景のなかの労働	<ul style="list-style-type: none"> 「仕事」と「稼ぎ」の違いを理解する。(手引き2) 筆者の言う『「仕事」の世界が作り出した景色の美しさ』を理解する。(手引き2) 	[読] 「仕事」が意味するものと「稼ぎ」が意味するものの違いを理解している。また、筆者を感動させた景色の背景にあるものを理解している。〈行動の観察/記述の確認/定期考査〉 ーイ [知] 「枝打ち」「背負子」などの日常耳にしない語	

						の意味を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ	
5	2		鉄, 千年のいのち ■読書案内	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の言う鍛冶屋の楽しみを理解する。(手引き2) ・和釘づくりが歴史への参加だと言う筆者の考えを理解する。(手引き2) 	<p>[読] 和釘に込めた筆者の思いを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ －イ</p> <p>[知] 「錬鉄」「溶解鉄」などの語の意味を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ</p>		
5 6	6	2 小説1 ▼時代背景や虚構性に注意して小説を読んで、そこに描かれた世界を的確に捉えよう。 ▼小説を読んで感じたこと考えたことを仲間と伝え合うことで理解を深めていく態度を養おう。	鞆 ◆小説の楽しみ④ …不条理と文学	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」と「青年」のセリフに注意して、物語の展開を理解する。(手引き1) ・「私」が「青年」と青年の「鞆」に対して持っている疑念を理解する。(手引き2) ・「青年」にとっての「鞆」はどのようなものかを理解する。(手引き3) ・行く道を束縛されながらも自由だという真理を理解する。(手引き4, 5) <p>【言語】 この小説の暗示性とストーリーのおもしろさを読み取り、それを紹介する文章を書く。</p>	<p>[読] セリフの発言者を確認して、物語の展開を正確に理解する。また、作者がこの小説で語りたかった「束縛」と「自由」ということを理解する。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ －イ・ウ</p> <p>[書] この小説の内容を的確に捉え、その紹介文を工夫して書いている。＜記述の確認＞ －イ</p> <p>[知] 現代小説の超現実主義の作品を理解している。また、奇抜な着想や象徴的かつ暗示的な表現の仕方も理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ</p>	「新総合図説国語」を利用して戦後日本の超現実主義を代表する作家である作者のことを調べる。また彼の世界における評価もインターネット等で調べる。	

	7	3	言語活動	意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を論理的な文章としてまとめる。 ・良書の案内を受け、好きな本について他者と紹介しあい、様々な図書に触れる。 	<p>[書] 自分の主張，テーマに対する自分の意見を的確にまとめて意見文を書いている。＜記述の確認＞ ーイ</p> <p>[話] 自分の好きな図書や紹介された図書についての感想を発信している。＜行動の観察＞ーア</p> <p>[書] 自分の主張，テーマに対する自分の意見を的確にまとめて意見文を書いている。＜記述の確認＞ ーイ</p>	
2	9	3	3 詩歌	竹	<ul style="list-style-type: none"> ・反復法や脚韻を使ったこの詩独特の響きの持つ効果を理解する。(手引き1) ・第一連「地下」と第二連「地上」という、違う情景の表現を理解する。(手引き2) ・作者が竹に込めた思いを理解する。(手引き3) ・萩原朔太郎の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、朔太郎の他の詩も読んでみる。 	<p>[読] 第一連，第二連の情景を正確に理解している。また，作者が竹の姿に込めている思いを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ ーイ・ウ</p> <p>[知] 反復法，脚韻といった詩の修辞技巧や言葉の使い方を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ ーオ</p>	
	9	3		永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> ・この詩において東北方言をそのまま使った効果を理解する。(手引き1) ・この詩に詠まれた情景の展開を理解する。(手引き2) 	<p>[話] この詩のテーマと方言を使うなどの表現方法について，自分の考えを的確にまとめて，正確に発信している。＜行動の観察＞ ーア</p>	「新総合図説国語」を利用して，作者のことを調べ

			問題について考える。		られるようになるわけです。」と言う筆者の考えを理解する。(手引き5) 【言語】 自分自身がファッションやモードに関して調べたこと、考えたことを文章にまとめて発表する。	えず自己否定を続けるものであるということを正確に読み取り、その内容を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞－イ 【知】 「セルフ・イメージ」、「センシビリティー」、「アイロニカル」などの難解な用語の意味を的確に理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ	
3	1 2	5	6 俳句 ▼比喩などの詩的な表現への理解を深め、詩歌に込められた作者の心情を味わおう。 ▼さまざまな詩歌に接して多様な表現を深く味わうことで、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにしよう。	春雷	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの俳句の季語を確認し、その俳句に詠まれている季節を理解する。(手引き1) それぞれの俳句に詠まれた情景を読み取ると同時に、そこに込められた作者の心情や感動を理解する。また、それをもとにして俳句の鑑賞文を書く。(手引き2, 3) 体言止め、句切れ、切れ字などの修辞技巧を理解する。 それぞれの俳人の文学史における位置を理解する。 	【読】 それぞれの俳句に詠まれた情景や作者の思いを理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ －イ・ウ 【書】 俳句に詠まれた情景や作者の心情・感動を正確に理解して、鑑賞文を書いている。＜記述の確認＞ －エ 【知】 俳句における季語、切れ字などの修辞技巧を理解している。また、村上鬼城、尾崎放哉、杉田久女、加藤楸邨、水原秋桜子といった俳人の文学史における位置を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ －オ	「新総合図説国語」を利用して、作者のことを調べる。
	2	1	一年を振り返って	自分への手紙 反省文	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めの目標が達成されたかを振り返り、一年間を振り返り学習への取り組みを考える。 	【書】 自分の成長や反省点をまとめることができている。＜記述の確認＞ －エ	